

4 / 4

先負 金

旬のもの 干菓子(ひがし)

あられ、らくがんなど水気を含まない菓子の総称です。寒食の具ともいいます。
せんべい、らくがん、吹き寄せなどが干菓子の類です。まんじゅうやようかんは生菓子です。
京都の優れた干菓子を、特に京干菓子と呼びそれぞれに美しい菓銘がついています。干菓子は薄茶用のお菓子で、らくがんはお菓子屋さんで比較的手に入りやすいですが、季節感のある、きれいな干菓子は、それ相応の茶菓子を製造販売しているところでないとなかなか手に入らないようです。

あんぱんの日

1875（明治8）年のこの日、明治天皇が水戸藩の下屋敷を訪れた際、京都の和菓子に変わって純日本製のパンをお出しすることになりました。そのときに献上されたのが、八重桜の塩漬けを入れた木村屋の桜あんぱんだったことにちなみ、記念日が制定されました。

沖縄県誕生の日

1879（明治2）年4月4日、琉球藩が廃止され、沖縄県が誕生しました。
沖縄は、天然記念物に指定されているヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなどの生物が生息するほか、本土とは異なる独自の文化が残っています。

4 / 5

仏滅 土

旬のもの 懐石料理(かいせきりょうり)

懐石料理は、日本古来の一汁三菜という食法を基本とした料理で、通常は茶の湯の席でお茶をいただく前に出されるものです。起源は文字通り「懐に石を抱く」事からきています。もともと修行中の禅僧の食事は、午前中に一度だけだと決められていました。そのため当然夜になるとお腹が空き、体温が下がってきます。そこで暖めた石を懐に抱いて飢えや寒さをしのいだのです。ここから懐石は、「わずかながら空腹を満たし、身体を暖める質素な食べ物」を意味するようになりました。

小笠原返還記念日

1968（昭和43）年のこの日、第二次世界大戦後からアメリカの施政下に置かれていた小笠原諸島を日本に返還する協定が締結され、同年6月26日に返還されました。島の生物が独自の進化を遂げていることから“東洋のガラパゴス”と呼ばれ、2011（平成23）年に世界遺産に登録されました。

ヘアカットの日

1872（明治5）年のこの日、東京府（現在の東京都）が女子の断髪禁止令を公布し、これに反対した女性たちがヘアカットの日として制定しました。前年、「散髪の許可」が出されていたにもかかわらず、チョンマゲを切ることができない男性が多くいる一方で、女性は好んで散髪するようになっていました。